

## 令和4年度愛知県健康づくり推進協議会議事要約

【日時】2023年3月29日（水）午前11時から正午まで

【会場】愛知県自治センター6階 第602会議室

【委員】出席13名、代理出席1名、欠席6名

【事務局】16名

【傍聴者】1名

【内容】

### 1 挨拶（愛知県保健医療局長 吉田）

○健康格差を解消し健康寿命の延伸を図るために、健康づくり施策の果たすべき役割は一層重要であり、社会全体で取り組んでいく課題と言える。

○本協議会では、本県が目指している「健康長寿あいちの実現」に向けて健康づくりに関する3つの計画について協議いただきたい。

○今年度、それぞれの計画について部会を開催し、計画の進捗状況や現行計画の最終評価案などについて御検討いただいたところである。

○本協議会は、過去2年間は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催とした。本日はオンライン形式ではあるが、3年ぶりに委員の皆様にお集まりいただいた。本県における健康づくりの更なる推進に向けてそれぞれの立場から協議したい。

### 2 議題（1）健康づくりに係る3計画の令和4年度の主な取組について

○「健康日本21あいち新計画」に係る令和4年度の取組 資料1-1

○「第3期愛知県がん対策推進計画」に係る令和4年度の取組 資料1-2

○「歯科口腔保健基本計画」に係る令和4年度の取組 資料1-3

### 3 議題（2）令和4年度における各専門部会の開催状況等について

○健康増進部会の開催状況等 資料2-1、参考資料1

○がん対策部会の開催状況等 資料2-2

○歯科口腔保健対策部会の開催状況等 資料2-3

### 4 議題（3）健康づくりに係る3計画の次期計画策定スケジュールについて 資料3

## <主な意見>

- 在宅における口腔ケアについて、誤嚥性肺炎が非常に死亡率に關与している。
- 口腔ケアによって、誤嚥性肺炎を4割程度に減らすことができるというデータもあるようなので推進していきたい。
- 健康増進部会の健康日本21あいち新計画について、この計画の最終評価では、指標の改善が多い分野と、悪化が多い分野との二極化があるとのことだったが、栄養食生活の分野では、17指標のうち9指標が悪化しており、約53%の割合で悪化が多い分野となった。コロナ禍でステイホーム等により、食習慣にも大きな影響があった。県民の皆様の食習慣の軌道修正のためにそれぞれの職域で何ができるのかを考えていきたい。
- 健康日本21あいち新計画の指標評価でC評価D評価であったところについて、市もデータを見ながら進捗確認をしたところ、同じように、身体活動、生活習慣の変化については悪化傾向にあった。例えば、在宅ワークが多くなり身体的な活動性が全体的に減ったなど、コロナによる非常に大きな影響が様々なところで生じている。コロナの自粛の時に外出制限や、受診制限、高齢者の通いの場の制限などがあり、全体的な活動量の影響が今出てきている。
- コロナが5類感染症に変わるということで社会生活も緩和されてくる。そういった中で、個人の啓発だけでなく、職場でも運動ができるような時間を取るなど、社会全体で支えていくような体制が整備されることで改善が進んでいくといい。社会全体で住んでいるだけで健康になれるというような体制を整えられるよう、健康部門だけでなく様々な部署が関わる計画づくりにしたい。
- 患者自身の受療行動も変わってきている。例えば、高齢の方が転倒するだけで簡単に骨折することが多い現状があるため、非常に健康づくりの需要も高くなっている。
- 今後、健康に対する要望、健康に対する政策をもう一度社会にアピールし、予防行動、健（検）診受診も含めて健康の作り方について、5月にコロナが5類になるので、各関係機関で力を合わせ社会全体で戻していく行動が必要である。
- コロナにより、大学教育ではWeb形式で講義をすることになっている。コロナ禍で得られた経験や手技を生かし、今後健康づくりの啓発事業などにWebも活用していけるとよい。
- 3月20日の県議会で、「あいち歯と口の健康づくり八〇二〇推進条例の改正案」が可決され、口腔がん、生活習慣病の糖尿病との関連について、新たに条例の中で言及されている。健康づくり推進協議会とその他の部会が連携し、がん対策や糖尿病対策等における歯科分野の取組を進めていきたい。
- 糖尿病対策は医歯薬連携が以前から進められているが、今後もさらに活発化させたい。